

令和8年7月28日～8月2日

令和8年熊本地震における緊急消防援助隊派遣について

筑紫野太宰府消防組合消防本部

令和8年7月28日16時27分に発生した熊本地震に伴い、消防庁長官からの出動の指示を受け、当消防本部の職員を緊急消防援助隊として派遣しました。

1. 派遣の背景と出動指令

地震の概要

令和8年7月28日16時27分に熊本県宇城市、氷川町において最大震度7の地震が発生しました。

部隊出動

同日、消防庁長官の指示を受け、当消防本部からも緊急消防援助隊の福岡県大隊として後方支援隊と消火隊の派遣を行いました。

2. 現地における主な活動内容

後方支援隊（合計12名派遣）

消防庁長官の出動要請を受け、福岡県大隊長の指揮のもと、7月28日の発災直後に後方支援隊としてまず6名が迅速に先遣出動しました。後方支援隊は、情報収集や被災地における進出拠点の環境整備等を行い、以降、帰隊命令が出るまで隊員を交代しながら、福岡県大隊の後方支援中隊長としての役割を担いました。

消火隊（合計9名派遣）

同日に消火隊5名が出動しました。消火隊は、被災地到着直後からイオンモール熊本における救出活動の下命を受け、以降、帰隊命令が出るまで隊員を交代しながら任務を遂行しました。

3. 活動写真



結びに

被災された全ての方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を深く祈願いたします。緊急消防援助隊の派遣経験を胸に、いつ起こるかわからない大規模災害に備え、日頃からの防災意識の向上を図る重要性を深く認識しています。いかなる災害においても国民の生命・身体・財産を守り抜くため、私たちは絶え間ない体制強化に邁進してまいります。